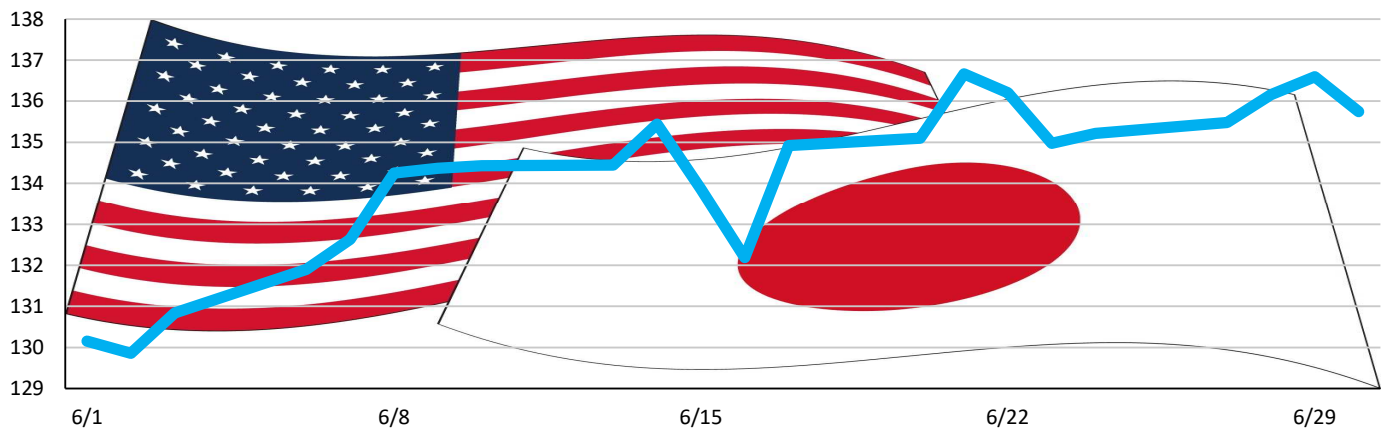


## MARKET REVIEW

**先月の振り返り：**6月のドル円相場は128円半ば～137円で推移。130円台を割り込んでいたドル円だったが、米雇用統計が良好だったことやECBが7月からの利上げ開始を決定したことで円売りが強まり135円台まで円安ドル高が進行。ただ注目された米FOMC終了後に、スイス中銀と英中銀が相次いで利上げを発表したことで金融政策発表を控えている日銀が金融緩和政策の変化もありうるとの見方が台頭し、急激に円が買い戻された。しかし日銀が金融政策の現状維持を決定したことで円買いの流れが一転し、米FOMC前の水準近くまで戻る荒い展開。その後も日本の要人から円安けん制発言が聞かれるものの、パウエルFRB議長が積極的な利上げを続ける姿勢を示したことでドル買いが継続し、ドル円は24年ぶりの137円に到達した。

(円) 米ドル円為替レート(終値ベース)



## EXTRA VISION

**今後の展開：**日米金利差に着目した動きが続く中、利上げ方針に舵を切り始めた各国中央銀行も増え、日本との金融政策方針の違いを意識した円売りの流れがドル円以外にも広がりを見せていることから、今後もドル円は底堅く推移していきそう。ただ米国の景気減速懸念の高まりから株式市場において調整安の動きがみられ、株式市場の動向次第で金融商品全般に手仕舞い換金売りが広がることも考えられる。短期的な動きに注意を払いつつポジションを構築していきたい。

今月の主な経済指標 ※ 日本時間

日付	時間	国	指標名	重要度
7 / 21 (木)	** : **	J P	日銀金融政策決定会合	☆☆☆☆
7 / 21 (木)	21 : 15	E U	欧州中央銀行 (E C B) 政策金利	☆☆☆☆
7 / 28 (木)	3 : 00	U S	米連邦公開市場委員会 (F O M C)	☆☆☆☆☆
7 / 28 (木)	21 : 30	U S	米GDP速報値	☆☆☆☆
8 / 4 (木)	20 : 00	G B	英中銀政策金利	☆☆☆☆
8 / 5 (金)	21 : 30	U S	米雇用統計	☆☆☆☆☆
8 / 10 (水)	21 : 30	U S	消費者物価指数 (C P I)	☆☆☆☆